

はち まる にい まる
8020



第47号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進本部

推進員だより

『学校における歯科保健活動について』

静岡県8020推進住民会議委員
静岡県教育委員会健康体育課
教育主幹

富田 宏美



静岡県8020推進住民会議委員として執筆するにあたって、改めて「8020運動」について確認をしました。

「8020運動は、80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動（※1）」であり、達成のために必要な予防策は、歯の喪失の二大原因であるむし歯と歯周病の予防を充実させることとされています。

令和5年度学校保健統計調査結果におけるう歯（※2）のある子供の割合は、

小学校・高等学校で4割、幼稚園・中学校では3割を下回り、むし歯の予防は、目標の達成に近づきつつあると思います。一方、校種が上がるにつれて歯周病や歯肉炎などの歯周疾患が増加しており、新たな課題となっております。歯周疾患は、様々な全身疾患と関連していることが報告されており、なかでも糖尿病との関連は、エビデンスが高いものとして知られています（※1）。生活習慣病予防においても、歯周疾患の予防の重要性は高まっています。学校での歯・口の健康づくりの指導は、歯の磨き方をはじめ、むし歯や歯肉の病気の予防、食生活の在り方など歯・口の健康づくり

に必要な基礎的な内容を正しく理解させることが中心となっております。学校で学んだことを実践する場面は、家庭が多くなります。学習内容を保護者に十分周知し、子供たちの実践を認め励ましてもらうこと、さらに保護者へ歯科保健に対する意識啓発を促すことにより、子供たちの歯科予防行動の定着が図られると考えます。私は、小学校の養護教諭として、学級担任や学校歯科医・歯科衛生士と協力して、カラーテスターで歯垢の染め出しをし、子供が自身の歯の生え方にあつた磨き方を学ぶための授業を通して、むし歯の予防を中心に取り組んできました。今後、学校において、歯の磨き方に加えて、デンタルフロスの使い方を学ぶ授業の実施や保護者に授業を参観してもらい、保護者の意識啓発を促していくことができればと考えております。さらに、喫煙が歯周病のり

スクファクターになることが認められているので、学校薬剤師と協力して喫煙の影響の周知にも取り組み、子供の生涯にわたる健康づくりの形成に携わっていきたいと思います。

終わりに、推進委員をはじめとする歯科保健に関わる皆様には、学校で健康教育に取り組む上で専門的な立場から、子供たちの健康の保持増進のため、より一層の御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

（※1）引用：厚生労働省生活習慣病予防のための情報サイト）
（※2）永久歯に未処置歯のある者と処置完了者の合計）

8020 推進・静岡県大会 講演

医療とアートの融合

健康を決める力、ヘルスリテラシーを身につける

歯科医師(医学博士)・現代芸術作家 長縄拓哉

私は東京歯科大学を卒業後、東京女子医大病院にて11年間勤務して、デンマークに留学し痛みの研究を経て、現在は在宅歯科医療に従事しております。専門は口腔顔面痛ですが、現代芸術作家としても活動しております。今回は、医療とアートを融合させた取り組みについて、特に医療知識の普及やヘルスリテラシーの向上に対するアートの役割について私の経験や作品を交えてお話しさせていただきます。

予防が大切！と言っても、いろんな人がいる

なるほど！予防します！ 興味ないですー 聞こえてない

分けて、アートを通した医療の場でのコミュニケーションについて話します。まずはヘルスリテラシーの高い人々、『やる人』は既に自ら情報を収集し、健

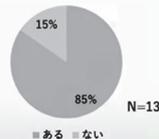
康に対する予防行動を積極的に取っているため、特別なアプローチは必要ないと思われれます。実際にこのタイプの人々は健康に関するイベントにもたくさん参加されています。

一方、健康に関する情報が届いてはいるのに何も行動を起こさない『やらない人』には、言葉で伝えることはなかなか難しく、こちらから出向いて実際に会いに行き背中を押すことで健康情報を伝えるのが効果的です。私が開催している子ども向けのお絵描き教室では、子ども達に口の開いたお面を作ってもらい、私もお面を被って子ども達に歯を磨いてもらいます。他人の歯を磨くことで歯磨きの自信につながる体験ができるわけです。子ども達がアートを楽しみながら医療に関する知識を得ることができるよう工夫を凝らしています。

『無関心でちょっと違う

なにか持って帰るとさらに会話も始まる

ご購入いただいたアートをきっかけに会話が始まったことはありますか？



持つことができかけになって大腸がん等疾患の早期に発見に繋がります。このような取り組みはゲームだけでなくアートでも同じようにできます。

私のアート展で、子ども達がポインターを持って迷路の作品に挑戦しました。親御さんが子ども達は一体何やっているのだろうか覗きに来たところで、「実は私、歯医者です。この絵は私が描いています。最近歯科検診行っていますか?」のような話をします。普段歯医者に行かないような人たちがアート展に来ることがあるので、普段出会えないような人に出会えることでタッチポイントが増える、そういうきっかけとなるアート展を開催しています。現代アートが好きな人たちは、作品を見ながら、一体この作品は何が描かれているだろうか、この作品を描いた人は誰だろうか、どう思うで描いている

「8020推進・静岡県大会 in 静岡」ハイブリッド開催

(令和6年11月10日 開催)



講演講師／長縄拓哉 先生
(歯科医師 兼 現代美術作家)



活動発表／原 明子 氏
(沼津市8020推進員)



活動発表／吉野祐子 氏
(藤枝市地域包括支援センター
社会福祉協議会)

8020県民表彰 (10名)

(敬称略)

【県知事賞】大塚里子 (富士市)

長島みはる (函南町)、山入文明 (裾野市)、外川 孝 (富士宮市)
大石瑤一 (静岡市清水区)、杉本昌宏 (焼津市)、小栗節雄 (藤枝市)
橋本泰義 (川根本町)、長浦厚子 (袋井市)、加藤春美 (湖西市)



8020推進財団理事長賞 (10名)

小松 功 (伊豆の国市)、押山昌弘 (長泉町)、山川京子 (沼津市)
岡野孝司 (富士市)、三上伸代 (富士宮市)、菊池武治 (焼津市)
河原崎守也 (藤枝市)、八倉昌武 (牧之原市)、山下 穰 (袋井市)
杉山 優 (浜松市)



歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール「最優秀賞」(5名)

幼稚園・保育園の部：米澤 大悟 (小川幼稚園／焼津市 6歳)
小学校低学年の部：山本 晴大 (南伊豆町立南伊豆東小学校 3年)
小学校高学年の部：鈴木 優雅 (富士宮市立富士見小学校 5年)
中学校の部：近藤 紀穂 (伊東市立南中学校 3年)
特別支援学校の部：玉川 達稀 (伊東市立宇佐美小学校特別支援学級 2年)

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 最優秀賞作品

